

## 貿易金融EDIとボレロ・プロジェクト

山川 健

はじめに

電子商取引を巡る研究状況を整理し、それに関連付けて、貿易金融取引の実験的プロジェクトであるBoleeroを取り上げ、その中から直接的・間接的に関連する民間金融機関およびそのグループに生じるであろう問題点と解決策を探り出すのが目的である。

### I 電子商取引に係わる研究状況

1) 法的側面では、契約成立の時期、譲渡可能な貿易金融書類の電子化と書類の真正性、準拠法の研究である。2) 電子マネーと銀行システムに係わる側面では、テクニカルな部分の取り扱いがほとんどで、純粹に貨幣論・貨幣本質論の立場でアプローチした研究はあまり見受けられない。ただ、それとの関連で、銀行経営への影響、および銀行システムの在り方として、フリー・バンキング・システムへと変化せざるをえないとする考え方や、Seignorageの帰属問題が取り上げられるようになってきた。3) EDI化された決済システムに係わる側面では、システムック・リスクの回避策の研究である。4) システムのセキュリティに係わる側面では、システム全体のテクニカル上の維持とセキュリティ・システムの在り方の研究である。5) 市場の変化とビジネス・チャンスの拡大に係わる側面では、スモール・ビジネスがビッグ・ビジネスと対等にビジネス活動ができるような世界を作り出すとの研究である。

では次に、こうした学問研究の成果を現実化させたプロジェクトであるボレロについて論述していこう。

### II 貿易金融EDIとしてのボレロ・プロジェクト

ボレロ・プロジェクトの目的は、電子式船荷証券の実現のためのパイロット・テストの構築と実験、第三者の認証機関によるサービスと技術的インフラの有効性、電子式サービスが商業的に受容されることを立証すべくパイロット・システムを計画し開発することであった。

1995年7月から9月まで実施されたパイロット・テストの結果どのような成果が生じたかといえば、電子式船荷証券の登録・移転・維持・管理・確認する中央登録機関の設置、デジタル署名、ボレロ・ルールの合意により初期の目的は達成された。

### III 今後の課題と解決策

ボレロ・プロジェクトから探り出せる民間金融機関やそのグループに生じるであろう問題点と解決策につき論及しておきたい。

1) 法的側面と金融機関の対応では、現行法と電子式船荷証券のシステムであるという主張の乖離および準拠法の問題がある。それには、ボレロ・ルールの合意に見られるように、システム法で対応すべきである。また銀行買取に係わる問題では、荷為替信用状データと船荷証券データの突き合わせが可能なシステムの開発が必要となろう。

2) システミック・リスク、収益源の減少への金融機関の対応では、システミック・リスクを最小限に抑える方策とサービスの内生化などを図ることが必要となる。

前者では、決済ボリュームの膨張への対応の問題以外に、決済情報のEDI化への対応の問題もある。それゆえ、市場ベースのEDI化された決済システムに参加する個々の民間金融機関のリスクと損失とを小さくし、同時に民間金融機関グループはシステミック・リスクを削減するような多通貨ネットィング・サービスを提供することにより、システミック・リスクを中央銀行に波及させないこと、また中央銀行は、民間金融機関がリスクを削減しやすいように、決済システムを市場ベースにのせる役割を担うべきである。そして、それから生じて来るであろう流動性の減少に対しては、ネットィング・ペイメント・システムそれ自体に各参加者双方の決済エクスポージャーを計算しかつ連続性が保てるようなネットィング・スキームを各参加者間に認めさせていくことで対応すべきである。

後者では、金融保証の増大に結びついた手数料収入をも含めてサービスの内生化を図ることや、情報ネットワークの活用と安全で効率的な決済サービスを開発・提供し、EDIビジネスの拡充を図ることで対応すべきである。

(討論者のコメント) 宅和公志氏(日本大学)

1. 貿易・金融取引のEDI化は技術的課題と法的課題以外に経済学(理論)上、例えば伝統的な貿易理論に対して何らかの修正を迫るものかどうか。

(回答)

1. 貿易障害が今まで以上に削減され、価格メカニズムがより貫徹される世界が形成されることになるゆえ、比較優位理論を中心とした伝統的な貿易理論が重みを増すことになる。

(質問) 山本繁綽氏(関西大学)

1. 今後ボレロのような電子商取引が実現され主流になると思われるが、日本の総合商社は、これにコミットしているか。

(回答)

1. あまり関心が向けられていないのが現状である。ただ最近になって、三井物産が三和銀行と貿易金融取引のEDI化に向けて取組み始めている。

貿易金融EDIとボレロ・プロジェクト

山川 健

( 英文名 )

EDI Trade Finance and Project Bolero

ken Yamakawa